

# みんなで語らう 『日本語教育方法研究』

日本語教育方法研究会はその名の通り「日本語教育方法を研究する会」です。しかしながら、そもそも日本語教育方法を研究するとは何をすることなのか、について、これまであまり議論されてきませんでした。日本語教育方法研究会には、ポスター発表が中心であり、アットホームな雰囲気の中で1年に2回自分たちの実践について検証ができるという特色があります。この特色により、これまでも研究会での発表を通して実践の検証を行い、そして研究会でのフィードバックに基づいて教育方法を継続的に改善してきた研究も数多くあります。20周年記念イベントでは、教育方法の継続的改良を行ってきた実践事例を参考に、参加者一人一人が自分自身の実践や研究を見つめ直し、それについて語り合い、これからどのように次なる一步を踏み出していけばいいかを一緒に考えていきたいと思えます。

日時：2013年3月9日（土） 13:00～17:00

会場：東京大学 本郷キャンパス

薬学部講堂／日本語教育センター（第2本部棟）

参加費：会員（無料） / 一般 2,000円

定員：170名

- ★会員の方は、あらかじめ年会費3,000円を納入くださるか、当日受付にて年会費を納入してください。また、当日入会も可能です。
- ★一般の方は、記念イベント参加費にて、翌日の研究会に参加することが可能です。
- ★記念イベントに参加ご希望の方は**必ず事前にお申し込みください**。
- ★なお、翌3月10日（日）には、同会場にて第40回研究会を開催します。

## お申し込み

E-mailにて ①氏名、②所属、③連絡先（電話・FAX又はメールアドレス）、④参加希望の分科会（第一希望・第二希望まで）、⑤懇親会の出欠をご記入の上、以下宛先までお申し込みください。

宛先：E-mail [jlem20th@gmail.com](mailto:jlem20th@gmail.com) 締切り：2013年3月2日（土）

日本語教育方法研究会ホームページ（変わりました）：[3w.to/jlem](http://3w.to/jlem)

## プログラム

### 開会(挨拶・趣旨説明)

13:00-13:10

#### 全体会

13:10-14:00

##### ▼事例紹介

###### ・教育プログラム

本郷智子（東京農工大学 国際センター）  
「理系留学生を対象とした日本語教育の継続的取り組み」

###### ・教育コンテンツ

俵山雄司（群馬大学 国際教育・研究センター）  
「ビジネス場面を意識した継続的实践」

###### ・教育ツール

前原かおる・増田真理子（東京大学 日本語教育センター）  
「デジタル教材の開発を伴った、組織としての教育改善の試み」

#### 分科会

14:15-16:15

##### ▼分科会1 教育プログラム

(コーディネーター：小野正樹・衣川隆生)

###### ●事例紹介者

・高橋志野（愛媛大学 国際教育支援センター）  
「日本語ボランティアを軸とした日本語教育プログラムの展開」

・中井陽子（東京外国語大学 留学生日本語教育センター）

「短期留学プログラムにおける会話教育のための「研究と実践の連携」の循環」

##### ▼分科会2 教育コンテンツ

(コーディネーター：小林由子・俵山雄司)

###### ●事例紹介者

・大津友美（東京外国語大学 留学生日本語教育センター）

「小論文・レポート作成クラスにおける新聞記事の活用」

・永井涼子（山口大学 留学生センター）

「看護・介護場面の談話分析と実践への応用」

##### ▼分科会3 教育ツール

(コーディネーター：根津誠・長谷川守寿)

###### ●事例紹介者

・川村よし子（東京国際大学 言語コミュニケーション学部）

「Web上の読解学習支援環境の構築」

・仁科喜久子（東京工業大学）

「作文支援ツールおよびそれを実現させるための学習者コーパスの構築」

#### 全体振り返り

16:30-17:00

#### 懇親会

17:30-19:00